

アプリケーションカタログ 清涼飲料水中のビタミンC

関連業界	:	食品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	酸化還元滴定
関連規格	:	日本農林規格

1. 概要

日本農林規格に規定されているビタミンCの定量方法では、インドフェノールを試料として被測定試料により滴定する事になっていますが、この方法は試料毎に滴定液を交換する必要があるので、実用上問題があります。よって本法では、予め既知濃度のL-アスコルビン酸を基に、ファクタを求めたインドフェノール溶液で試料を滴定し、濃度を求める簡易法を採用しました。

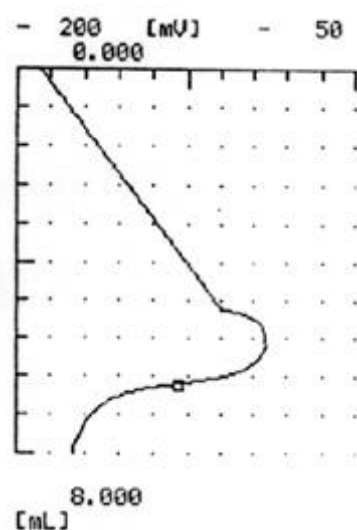
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (標準プリアンプリファイア STD-)
電極	:	<input type="checkbox"/> オプション 複合白金電極

3. 試薬

滴定液	:	インドフェノール溶液 (2,6-ジクロロフェノールインドフェノール 0.3948gを純水で溶解させ、全量を1000mLにしたもの)
添加薬	:	酢酸(試薬特級)
標準物質	:	L-アスコルビン酸

4. 測定例



—滴定曲線—

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>

—測定結果—

	Sample (g)	Titration (mL)	Concentration (%)
1	3.0108	6.5820	0.0593
2	3.0485	6.6683	0.0593
3	3.0213	6.6220	0.0594
Average			0.0594
S.D.			0.0001
R.S.D.			0.14